

原ようこ総合選対NEWS

2023年9月10日
 原ようこ総合選対委員会
 原ようこを応援する会
 〒380-0832 長野市県町593-11
 電話 026(217)3230
 FAX 026(234)6035

原ようこ候補 元気に出発

長野市議選 50人超える立候補で大激戦



第一声で訴える原ようこ候補

あと一步の支持拡大を

長野市議会議員選挙が9月10日告示、17日投票で行われます。

総合選対委員会は、新人の原ようこさんを推薦いただいた皆さんで構成し、引退する現職の布目裕喜雄・市議の後継者として何としても議席を確保するために、最後の支持拡大の活動を展開しています。

10日、朝9時から長野市の社会文化会館に約50人の支持者を集め、原ようこ必勝出発式がおこなわれました。

出発式の後の第一声で原ようこさんは「子育て世帯の当事者として声を上げたいと思い、市議への挑戦を決意した。弱い立場の人たちがガマンしている社会になっている。税金の使い方、優先順位をしっかり決め、弱い立場の人の声を市政に届けたい」と訴えました。

市議選には50人超が立候補し大激戦となっています。原ようこ候補の支持拡大に皆さまの力をお貸しください。

棄権は危険

投票日9月17日(日)

必ず投票に行こう

期日前投票の活用も

原ようこ候補の第一声(要旨)

◆子育てど真ん中45歳

無名の女性・新人45歳、小学生2人の子育て真っ最中です。ゼロからのスタートです。

特に取り組みたい政策は、子育て支援、教育環境の整備、福祉のまちづくり、働く人達の働き方改革です。

◆子どもまんなかの長野市を

今、少子化が進んでいます。子育てにはお金がかかります。子育て世帯の経済的負担の軽減を実現したいと思います。

義務教育の給食費も無償化してよいと思います。子どもの福祉医療費は、いま窓口負担が500円、薬を出されればまた500円。合計1,000円かかります。たくさんのお子さんのいる家庭の負担は軽くありません。特に医療費については、子どもは望んで病気になり、けがをするわけではありません。このように、苦勞している家庭が多くあります。行政がしっかりと補助していくことが大切だと考えます。

◆非正規労働者の声を市政に

働き方改革ですが、私もずっと長い間非正規雇用で働いてきました。戸隠中学校や西部中学校での臨時教員の経験、子育てしながら、様々な会社でパート勤務をしてきました。そういった中で、正社員と非正規雇用の格差、子育てしながら働き続けることの難しさを感じて来ました。働き続けられる職場をつくるためにしっかりと改革していく、市政に声を上げていきたいと思っています。

◆弱い立場の人たちに代弁者になりたい

それから福祉のまちづくりです。子どもだけでなく、高齢者の方、障がい者の方、女性、子どもなど弱い立場の人たちがガマンをしている社会になっているのではないかと思います。

やはり弱い立場の方々の声をしっかりと聴いて、それを改善していく、良い社会にしていく、それが政治の役割だと思っています。

◆子育て世帯の当事者として

そこに、子育て世帯の当事者として私が声を上げたいと思い、市議への挑戦を決意しました。高齢者の課題もありますが、やはり子どもが元気な長野市、子どもが元気な社会、それが「持続可能な社会」未来への道だと思っています。税金の使い方、優先順位をしっかりと決める。その場へご意見を届けられる議員になりたい。本当にゼロからのスタートです。選挙戦はまだまだ厳しい情勢です。当選へ向けて、みなさんのご支援をいただきながらしっかりと訴えてまいりたいと思います。

引き続き応援よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。



出発式での激励の声（要旨）

布目裕喜雄・選対委員長（長野市議会議員）

勝利まであと一步の支援を

7月に「原ようこを応援する会」を立ち上げて、暑い中支援をお願いしてきた。準備期間は短かったが総力を挙げて取り組んできた。原ようこさんはまさに「ゼロからの出発」だ。いわゆる「地盤、看板、かばん」が何もない、無い無い尽くしからの挑戦だ。

皆様のご支援で互角に戦えるところまで押し上げてもらった。でも、勝利をつかんだというところまでは来ていない。もう一回り大きい支援をお願いしたい。

原さんのバイタリティーあふれる行動には驚かされる。家事、子育てなどハードなスケジュールの中でも一回も弱音を吐いたことがない。

長野市議会には女性議員は2割。現役の子育て世代の議員はゼロ。現役の子育て世代の意見を持ち込めるのは原ようこさんだけだ。

勝利を確実にするための最後のご支援をお願いしたい。



中村雅代・社民党県連合副代表

◆女性の視点での気づきを市政に

小布施で町議を3期目。子育ては終えて、孫育て世代になった。

原ようこさんの知名度はまだまだ低いが、間違いない人だとみんなに紹介している。女性の視点で気づいた点を市政に意見を反映してほしい。



高島陽子・県議会議員（メッセージ）

◆子育て当事者を市議会に

原ようこさんから「市議会議員をめざしたい」と思いを聞いた。女性議員の参画が拡大すること、生活者起点の政治土壌づくり、子育て当事者が原動力を増すためにも、ぜひとも議会へ送りたいと微力ながら支援を続けてきた。

勝利を確かなものとするため、私も応援したい。



宇都宮庸雄・長野地区労組会議議長

◆労働者の声を市政に

労働者の声を届けてくれる議員が必要だ。

立候補者が多く激戦となり、1票差で勝敗が決することもあるかもしれない。1票、1票積み上げていこう。



小林誠・自治労県本部書記次長

◆連携を強めたい

公務員の労働条件は議会で決まっていく。長野市政でも今まで布目裕喜雄議員と連携してきた。原ようこさんの当選を勝ち取り、引き続き連携していきたい。



青木雅裕・私鉄県連書記長

◆公共交通活性化を

布目裕喜雄議員を組織内として5期支えてきた。コロナで利用者が激減し、労働者の収入も大幅に落ち込んだ。いま、職場で人が足りない状況で仕事をしている。原ようこさんの当選で公共交通の活性化を。



小山茂・部落解放同盟市協議会書記長

◆子育て視点で改革を

布目裕喜雄さんには部落解放運動でお世話になった。原ようこさんには現役の子育て世代の視点で市政を変えていってほしい。



田野口紘二・市職労退職者協議会会長

◆原さんを支えたい

三上孝一郎県議、竹内久幸県議、池田清県議など組織内議員として支えてきた。原ようこさんには女性の立場で市議会で頑張ってもらいたい。



子どもまんなかのやさしいまちに

原ようこ 個人演説会

■とき 9月13日(水) 18時

■ところ 県労働会館5階 大会議室
長野市県町532-3
合同庁舎駐車場のご利用を

